

1面のつづき

災害に強いまちづくり



合同総合防災訓練の様子

昨年、東京都と合同で実施した総合防災訓練は、関係機関との連携や自助・共助に基づく地域防災力の強化のための実践的で大規模な訓練でありました。この訓練で得たことを生かし、

暮らしを豊かにする 産業の活性化



産業祭農産物直売コーナーの様子

本年4月から消費税率が引き上げられることにより、消費の冷え込みが懸念されますので、

防災・安心地域委員会や地域防災リーダー、安否確認などの補助の仕組みづくりを引き続き支援するとともに、備蓄品の拡充など防災機能の強化を図り、安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでまいります。

また、町内会・自治会の活発な活動は、災害時のみならず日ごろの支え合いにも重要でありますので、地域の課題解決や地域力向上の取組に対するコミュニティ事業交付金制度を継続するとともに、町内会館、自治会館の建て替え事業に対する支援も行ってまいります。

安心して暮らせる 福祉の充実

人口減少社会の到来が現実のものとなる中、地域の活力の向上や魅力あるまちづくりを進めるためには、子育て環境の整備や高齢者、障がい者を地域で支え合う仕組みを具体化していくことが重要であります。



子育てひろばの様子

子育て環境の整備につきましては、民間保育園の建て替えの支援や学童クラブの定員の拡大を図り、待機児童の解消に努めてまいりましたが、引き続き、南秋留児童館の改修工事に取り組みるとともに、五日市小学校の余剰教室を活用した学童クラブを開設することで、さらなる児童の放課後対策の充実に取り組んでまいります。

都市基盤の着実な整備



(仮称)草花公園住宅完成イメージ図

道路、橋りょうなどのインフラの安全性確保と長寿命化、さらには更新の取組は、重要な行政課題の一つとなっております。

高齢者福祉につきましては、高齢化率が25%を超える中、健康維持、虐待防止、介護予防など、地域包括支援センターの果たす役割がますます重要になっておりますので、秋川地区のセンターを民間業者に委託することで、専門性や機動力の向上に努めてまいります。

さらに、計画期間が満了を迎える地域保健福祉計画などにつきまして、高齢者、障がい者、健康づくりなどの各分野について、市民、事業者を交えて検討を行いながら、策定に取り組んでまいります。

教育とスポーツ・文化の振興

また、平成27年度からスタートする子ども・子育て支援新制度に向けて、あきる野市としての事業計画を子ども・子育て会議での検討をいたしながら取りまとめられてまいります。



菅生歌舞伎の一場面

人々が輝く「あきる野の教育」の実現に向け、一人一人を大切に育てる特別支援教育の考え方の下、小中学校9年間を見据えた一貫教育に取り組む、中学校区ごとに設定した「目指す子ども像」の実現のために「育てたい力」を具現化してまいります。

武蔵引田駅周辺地区の土地整理事業

武蔵引田駅周辺地区の土地整理事業につきましては、まちづくり協議会の意向を踏まえ、東京都及び国との協議を経て、都市計画決定などの手続きを進めてまいります。

また、環境省の事業採択を受け、昨年からの取組を進めております街路灯のLED化につきましては、4月からのリース開始に向けて設置が進んでおり、これにより、環境負荷の低減と経費の節減を図ってまいります。

恐れのある天井や照明器具などの非構造部材の点検と調査設計を行ってまいります。

また、3か年計画で取り組んできたトイレの洋式化を完了させるとともに、水道の直結給水化に引き続き取り組み、教育環境の整備を図ってまいります。

また、あきる野市の財政

また、あきる野市の財政につきましては、これまでの行政改革の取組などにより、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の大幅な改善などが見られるところであり、平成26年度は、地域の元氣臨時交付金を活用し、鳥居場会館、玉見会館などの改修工事、秋川キララホールやあきる野ルビアの空調設備の大規模改修を前倒しで行うことができませんが、老朽化が進む公共施設などの中長期的かつ総合的な管理計画の策定や、人口減少下における定住促進対策を、重要課題として取り組んでまいりたいと考えております。

また、スポーツは競技だけでなく、健康づくりやコミュニティの醸成など多面的な機能が期待されています。また、スポーツ推進計画に掲げた成人の週1回以上のスポーツ実施率70%を目指し、関係団体などとともに気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでまいります。

また、市制施行20周年の一大イベントとなる全国地芝居サミットは、市の魅力を全国に発信する絶好の機会ともいえ、実行委員会に対する支援を行うとともに、関係団体との連携を密にしながら、平成27年の開催に向け、鋭意準備に努めてまいります。

また、あきる野市の財政につきましては、これまでの行政改革の取組などにより、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の大幅な改善などが見られるところであり、平成26年度は、地域の元氣臨時交付金を活用し、鳥居場会館、玉見会館などの改修工事、秋川キララホールやあきる野ルビアの空調設備の大規模改修を前倒しで行うことができませんが、老朽化が進む公共施設などの中長期的かつ総合的な管理計画の策定や、人口減少下における定住促進対策を、重要課題として取り組んでまいりたいと考えております。

また、あきる野市の財政につきましては、これまでの行政改革の取組などにより、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の大幅な改善などが見られるところであり、平成26年度は、地域の元氣臨時交付金を活用し、鳥居場会館、玉見会館などの改修工事、秋川キララホールやあきる野ルビアの空調設備の大規模改修を前倒しで行うことができませんが、老朽化が進む公共施設などの中長期的かつ総合的な管理計画の策定や、人口減少下における定住促進対策を、重要課題として取り組んでまいりたいと考えております。

また、あきる野市の財政につきましては、これまでの行政改革の取組などにより、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の大幅な改善などが見られるところであり、平成26年度は、地域の元氣臨時交付金を活用し、鳥居場会館、玉見会館などの改修工事、秋川キララホールやあきる野ルビアの空調設備の大規模改修を前倒しで行うことができませんが、老朽化が進む公共施設などの中長期的かつ総合的な管理計画の策定や、人口減少下における定住促進対策を、重要課題として取り組んでまいりたいと考えております。

また、あきる野市の財政につきましては、これまでの行政改革の取組などにより、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の大幅な改善などが見られるところであり、平成26年度は、地域の元氣臨時交付金を活用し、鳥居場会館、玉見会館などの改修工事、秋川キララホールやあきる野ルビアの空調設備の大規模改修を前倒しで行うことができませんが、老朽化が進む公共施設などの中長期的かつ総合的な管理計画の策定や、人口減少下における定住促進対策を、重要課題として取り組んでまいりたいと考えております。

また、あきる野市の財政につきましては、これまでの行政改革の取組などにより、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の大幅な改善などが見られるところであり、平成26年度は、地域の元氣臨時交付金を活用し、鳥居場会館、玉見会館などの改修工事、秋川キララホールやあきる野ルビアの空調設備の大規模改修を前倒しで行うことができませんが、老朽化が進む公共施設などの中長期的かつ総合的な管理計画の策定や、人口減少下における定住促進対策を、重要課題として取り組んでまいりたいと考えております。

音訳ボランティアの協力により作成をしている、デジタル版あきる野(音声版広報)のCDを貸し出しています。図書館の利用者カードをお持ちならどなたでも利用できます。詳しくは図書館にお問い合わせください。(貸出館…中央図書館、五日市図書館、東部図書館工ル)